

碧南市地域農業再生協議会 議事録

1 開催日時

令和6年8月27日（火）午後1時45分から午後2時30分まで

2 場所

碧南市役所7階 議員大会議室

3 現在会員数

会員23名、監事2名

4 出席会員数

会員20名、監事2名

小池友妃子（会長）	神谷 昌明（副会長）	山中 力四郎	市古 昭子
黒田 実	藤浦 利吉	近藤 正孝	金子 さか江
三島 孝二	石川 清勝	永井 是充	新美 康弘
金原 節子	加藤 浩孝	下島 良一	磯貝 孝弘
山中 光弘	鈴木 良樹	野村 勝己	生田 和重
永坂 邦男（監事）	原田 孝司（監事）		

5 出席事務局

事務局長（碧南市農業水産課長）	亀島 弘樹
事務局（JAあいち中央営農部碧南営農センター長）	石川 浩義
事務局（碧南市農業水産課課長補佐）	齋藤 静絵
事務局（碧南市農業水産課農政振興係主査）	北村 信晃

6 オブザーバー

欠席

7 傍聴人

0名

8 議事とその結果

【事務局】

～本協議会の成立を報告～

【会長】

あいさつ

【事務局】

ありがとうございました。それでは規約第13条第2項により、議長は会長とするためこれからの進行は小池会長よりお願いいたします。

【会長】 それでは規約に基づきまして議長を務めさせていただきます。まず始めに議事録署名人を選任します。私から指名させていただいてよろしいでしょうか。

【会員】

異議なし。

【議長】

ありがとうございます。それでは今回の議事録署名人は、近藤正孝様と金子さか江様をお願いいたします。

【議長】

それでは議事に入ります。

第1号議案「令和6年度水田農業対策の実施状況について」事務局より説明を願います。

【事務局】

～第1号議案説明～

【議長】

事務局からの説明が終わりました。これより質疑を行いたいと思います。何かご質問等ありましたら、お願いします。

質疑がないようですので、第1号議案につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。挙手全員でございますので、第1号議案を承認いたします。続きまして、第2号議案「令和7年度水田農業対策の取組及び作付地域について」事務局より説明を願います。

【事務局】

～第2号議案説明～

【議長】

事務局からの説明が終わりました。これより質疑を行いたいと思います。何かご質問等ありましたらお願いします。

質疑はないようですので、第2号議案につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。挙手全員でございますので、第2号議案を承認いたします。

これで議案につきましては、全て審議を終えました。その他として事務局から何かございますか。

【事務局】

～ 3 その他（１）、（２）説明～

【議長】

ただいま事務局からの説明が終わりました。

これにつきまして何かご質問等ありましたらお願いします。特段ないということで、これはその他の事項となりますので採択をいただく必要はございません。その他皆様から何かご意見等ございますでしょうか。

【会員】

米不足が言われている状況ですが、JAあいち中央では実際に今の米の在庫状況はどのように把握されているか。

【会員】

農協の支店や産直で直接販売しているお米があるが、在庫は非常に厳しい状態になっている。現在様々な方法で販売をしているが、赤松センターで割安で販売していた玄米等についても米業者から直接注文が入るようになり、業者はお断りと伝えると、個人名で購入すると言われてしまい、個人でも個数制限すると複数人から注文されてしまうような事態となり、現在は当該販売を中止した。産直でもまとめ買いをする方がかなり増えてきており、数量制限をしている状況。ただ、現状スーパーでお米が品切れになっている中で農協を頼りに買いに来られている方がいる中で、産直でも欠品が発生している状況である。現状製造が間に合わない中で、販売を止めるのか、数量制限しつつ継続していくのか、今日も対策を協議している段階である。農協としても農家の方から米を預かっているが大半は経済連に渡す形となるので、手持ちの在庫は限られている状態にある。その在庫はほぼ枯渇しているような状況にある。

【会員】

この地域の新米はいつ頃から出回るようになるのか。

【会員】

出来次第すぐに流通させたいと考えているところだが、ここ数日天候が悪い状況が続いており、収穫が進まないことが想定され、もうしばらく時間がかかると思われる。米のカントリーについては例年よりも一週間程早く稼働させているが、天候が悪いこ

とあって収穫が進んでいないため、米の乾燥も遅れている状況にある。

【会員】

米の価格は、これまで生産調整を行ってきても年々下がってしまう状況の中で、今年の新米は相当な高値が付いたと聞いているが、現状の状況はどうか。

【会員】

おっしゃられるとおり高値になってきている。農協としては経済連の買取価格を基に価格設定をさせていただいており、これが今年はかなり金額が上がるような高値になっている。現状では発表できないが、かなり高くなる見込みである。ただ、高くなるからと言って、米を増やすかとなると、生産調整を守らないと国からの助成金に影響が出ることと、全国的に同じような状況で群がって米を生産してしまい価格暴落ということも起きかねないので、農協としては今回の再生協の会議で提示された数量を守って、変動の波が無いような形で何とか凌いでいければと考えている。

【会員】

16,000円だとか、18,000円だとかの金額が示されたと新聞では報道されているが、この地域もこのような金額か。

【会員】

そのような見込みである。この地域は消費圏であり、物流の問題がないので経済連も強気の値を付けている状況である。

【議長】

その他皆様からはよろしいでしょうか。

それでは他に意見等もないようですので、これをもちまして碧南市地域農業再生協議会を閉会させていただきます。長時間ご審議いただき、ありがとうございました。

～午後2時10分 終了～